

みちのく会は東日本大震災により道内に避難している被災者たちの会です。当会は2011年4月23日に会員同士の互助、地元市民とのコミュニティの発生、経済的自立を目指し、様々な取り組みを行っております。

ホームページ：<http://michinokukai.info/>

ブログ：<http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス：office@michinokukai.info

新しい年度を迎え

みちのく会会長 本間紀伊子

今年は、桜の開花が早く、気がついたらあっという間にライラックの季節ですね。こんなにきれいなピンク色だったとは、あらためて驚き、感動しています。

さて、新年度を迎え、みちのく会(札幌)でも役員会を持ちながら、今年度の方向性を話しあってきました。

長期化する避難生活が、ますます多様化している現状において、何をすべきか?ということに対して、「みちのく会は、あるだけでいい」という繰り返し出される意見が印象的です。⇒必要と思う人が、いつでもおとずれることができる場。

ほっとできる場所であったり、居場所であったり、時には逃げ場所であったり、羽目を外せる場所であったり…。

そんな場、ネットワークを使って、自分たちがしたいことを行っていける場となればと思っています。

また直接訪れるだけではなく、生活にまつわる情報収集や相談など いろいろな内容の電話、メールも毎日いただいています。折り返しやお返事に時間がかかる場合もあり申し訳ありませんが、今後も大勢で集うということと、逆に個々との繋がりを大事にして繋がっていきたいと思っています。

おおまかな今年度の予定は下記のとおりです。

今年度の予定

■みちのく会月寒オフィスには、アシスト協会が運営する交流の場「サロンドKaRaKaRa」がありますので、お茶を飲んだり、交流をしたり、イベントや、DVDなどの鑑賞会など、自由に使うことができます。

開設日:平日(月～金) 時間:9時～18時(事前にご連絡ください)

【茶話会の開催】

毎週木曜日 午前10時30分～午後2時

※月1回の出張お茶会

【ANPAN☆NIGHT】一般市民の方などを交えた飲み会

毎月第3金曜日 午後18時～21時 ※変更になる場合もあるので事前にご確認ください

■情報提供

【みちのく会通信の発行】月1回

配布先:避難者情報システムとみちのく会の個人情報による全道の避難者世帯、支援団体、道内179市町村、各振興局

【ホームページ】

みちのく会本部のホームページに各支部へのリンクページを

作成予定。

【その他】ブログ、facebook、メーリングリスト

■各支部との交流会・研修会

避難生活の長期化と会員数の増加に伴い、避難生活が多様化する中で、道内各地における支援にも格差が生じているため、情報交換や議論する場を重ねて持つようにする。

【札幌本部の役員会議】月に1回開催

【支部長会議】2カ月に1回開催

【各支部でのお茶会や交流会】不定期

■収益事業

【缶バッチの製造】1個につき約10円の収入

会員さんへ内職としても委託

【東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への情報発信等】

■ありがとう北海道プロジェクト

毎月11日に北海道に感謝をこめてゴミひろいを行っています。

賛同される方は、都合のいい時間帯に都合のいい場所にて、出来る範囲ではじめていきましょう。

月寒オフィスでは、毎月11日13時より事務所近辺の清掃活動を行っています。一人よりみんなでやりたい方は、どうぞいらしてください。

■会員および北海道避難者の現状把握、声の吸い上げ

【全国ネットワーク、行政、国への情報提供、要望書の提出、政策提言など】

※平成25年度は 北海道広域避難アシスト協議会として支援団体のあったかい道と協働で北海道の委託事業を行いました。26年3月31日を持ちまして25年度の委託事業が終了し、北海道広域避難アシスト協議会は、解散いたしました。

尚、平成26年度は、一般社団法人北海道広域避難アシスト協会が、単体で北海道の被災者支援事業を受託しました。

今年度も、月寒オフィスにて、みちのく会とアシスト協会が同居しながら動いていくこととなります。事務所の家賃、水道光熱費は、事務スペースの割合から按分し、アシストが3/4・みちのく会が1/4です。

今年度の北海道の被災者支援事業の詳細はこちら⇒一般社団法人アシスト協会 <http://kouiki-assist.com/>

みちのく会 会員数(人)

札幌1432人／旭川144人／空知23人／恵庭10人／胆振11人／函館55人／計1675人(平成26年5月19日現在)

平成25年度 収支報告(仮)

■収入

受取寄付金	1,142,073
イベント寄付金(あんぱんナイト)	43,000
受取助成金(さぼーとほっと基金)	810,765
受取助成金(WAON)	400,000
受取助成金(寺子屋事業)	147,000
自主事業収入(JCN)	861,750
自主事業収入(缶バッチ製作)	743,033
イベント収入(缶バッチ売上)	14,540
イベント収入(あんぱんナイト)	200,000
受取 利息	285
雑収益	63,790
収益計	4,426,236
前期繰越正味財産額	2,332,600
収入計	6,758,836

■支出

臨時雇賃金	3,000
有償ボランティア賃金	1,305,260
有償ボランティア交通費	19,406
缶バッチ製作作業代	23,112
印刷製本費	485,565
旅費交通費	1,183,498
通信運搬費	91,064
水道光熱費	67,155
地代家賃	110,000
賃借料	10,000
保険料	5,088
支払寄付金	261,225
雑費	548,852
イベント経費	236,481
食材費(お茶会)	3,444
消耗品費	7,093
租税公課	25,000
経費計	4,385,243
次期繰越正味財産額	2,373,593
支出計	6,758,836

みちのく会 旭川支部より

東日本大震災コミュニティカフェ

「みちcafe匠乃施呂」兼、みちのく会旭川支部事務局

■仮OPEN; 2014年5月28日(水)～5月31日(土) 11:00～14:00

※正式OPENは6/1(日)、以降営業時間10:00～18:30 (LO18:00)

※OPEN当日15:00より特別ゲスト(宮城県石巻市からお呼びします)によるイベント有ります

■場所; マルカツデパート三階
(旭川市2条通7丁目買物公園通)

■新cafe TEL0166-56-5914

■仮OPENの間は、新聞報道にもありました通り、原則無料提供ですが「食事が美味しかったらワンコインお願いします」ということをお願いします。

■仮OPENの重要なポイントは、皆さんからの心あるアドバイスにあります。積極的に、運営者の芝崎さん&飯崎さんへ声をかけてください。

■仮OPENの対象者は会員さん、支援者様、マルカツテナント従事者様、一般市民者様です。

【重要】正式OPEN後へ向けて、登録スタッフを募集しています<職種 フロアスタッフ、お弁当デリバリーなど>。cafe運営者の芝崎さんと委細面談が必要です。試用期間あり、時給1,000円。楽しくマジメに働きませんか? 希望される方は、先ずはTELにて⇒TEL0166-56-5914

【重要】「駐車場代かけてまで、マルカツcafeへ行かない」「車でマルカツcafeは集まりづらい」という多くの会員の声に、新cafeはお答えします⇒みちのく会旭川支部会員は、正式OPEN以降、マルカツ屋上駐車場(車高170cm以下に限る)代金を飲食された方に2時間無料で提供します(通常他のテナントはお買物金額3,000円以上という条件がつきます)

【重要】会員さんで、販売したい物品などがありましたら、仮OPEN以降店舗へ、もしくはメール<myt.kanaya@gmail.com 支部長 金谷宛>御相談ください。会員さんの販売条件は「すべてご本人様計上」です。

■マルカツ伊藤館長様より、今回の運営スタートにあたって、温かいコメントを頂いております。その他、支部の資料とともにcafeに置きます。ご一読ください。

■福島県地元新聞二紙<福島民友・福島民報>を引き続き設置します。道新・道スポもありますよ。

■ご本人様へお伝えしましたが、支援者様が旧cafeで展示くださっていた被災地写真を正式OPEN以降に整えなおして再度展示します。

■運営者二家族が自らの生活をかけてスタートします。どうか、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう何卒宜しくお願い致します。

■大きな改装を実施し、以前と見違えるお店になりました。先ずはぜひお越しください。楽しくお話ししましょう。

■cafe売上の1%を、みちのく会旭川支部へ積み立て毎月お知らせします。この予算は、当初、会員へキャッシュバックという話でしたが、過日の総会で「3.11事業などに充てるため積み立てる」と目的が変更されましたこともここに報告します。

■cafeには、被災地を直接応援できる生産品、雑貨類を販売します。ステキな商品をぜひ見にいらしてください。

■毎月11日に、被災地支援セールを特別企画します。詳細は別途ご案内します。

みちのく会 そらち支部より

皆さんこんにちは。4月からそらち支部長となりました渡辺歩です。

前支部長篠崎が転居のため支部長を変更することとなりそれを引き継ぐことになりました。至らない点も多いと思いますが気持ちを新たに皆さんの助けとなれるよう頑張ります。そらち支部の活動はこれまで同様子ども達を対象とした内容を中心に行っていく予定です。

■まずダンスチーム「北海道桜組」のお知らせです。

5月5日(祝)に昨年に引き続きFMノースウェーブ主催のキッズダンスカーニバルに出演、6月は8日(日)に「YOSAKIソーラン祭り」の新札幌会場で踊らせて頂き、また29日(日)には札幌市大通り10丁目で開かれる「フェアトレードフェスタ」に出演予定です。メンバー全員新しい曲に頑張っており取り組んでいます。詳細はそらち支部までお問い合わせ頂くかFacebookでもご案内致します。

■そしてそらち支部では新しく自然豊かなそらち地方を舞台にした保養プロジェクトを立ち上げたいと考えています。福島の子供達をはじめ多くの子ども達に今もこれからも続けていく必要があるプロジェクトだと思います。

■また先日近隣の支援者の方と話し合いをする機会を設けました。そらち支部の活動、避難者さんの現状、北海道へ来る前の生活などを話し、これからお互いコミュニケーションを取り合い出来ることを相談していくことになりました。地味な作業だけでも続けていきましょうという言葉が心強く、嬉しく思いました。ありがとうございます。

これからも人との出会い、繋がりを大切に活動していきます。皆さんご意見・アドバイスなどありましたらぜひお聞かせ下さい。どうぞよろしくお願い致します。

みちのく会 胆振支部より

4月13日に、胆振支部としては初の集まりとなりました。

今回は4家族、大人7人、子ども7人が参加してくれました。洞爺湖町及び豊浦町から、そして、札幌本部からは本間会長が来てくれました。

呼びかけ期間が短かったこともあり集まりは少なかったですが、それでも有意義な時間を過ごすことができました。

みんなそれぞれ生活を成り立たせていますが、心の中には不安や悩みを抱えていました。

そんな不安や悩みを打ち明け合える場も必要だなあと感じる日でもありました。

大人たちが盛り上がる横では、子どもたちが大はしゃぎ!みんなでおやつを食べたり、世間話をしたり、次の集まりのアイデアを話し合ったり、あっという間の3時間でした。

ちなみに会場は、町の計らいで無料でお借りできました。

みなさんに支えられていることに感謝です☆

次回は、洞爺湖畔で?BBQ?をしたいと思っています。

胆振地区に限らず、参加したい方はドンドン参加してくださいね(^ ▽ ^)

また、もしも引っ越しをお考えの方がいらしたら、洞爺湖町でしたらいくだけでもご案内できますので、お気軽に声を掛けて下さいね☆

みちのく会 恵庭支部より

こんにちは、支部長の小林です。

過去のお知らせ2件と、来月の活動方針の連絡があります。

■3/15にライオンズクラブ主催の東日本大震災 避難者リフレッシュ事業に参加してきました。

恵庭市に避難している5世帯16名のほか、あったかい道から湊さん、札幌本部から本間さんも駆けつけて頂きまして、美味しいジンギスカンをご馳走になりました。

お腹の膨れた子供たちがヴァルハラ内を元気に走り回り、特に我が家の2匹が大変ご迷惑をお掛けしましたこと、この場を借りて謝罪いたします。

ともあれ、会はずつがなく進みまして、交流を深めることが出来ました。

恵庭市役所の方々、およびライオンズクラブの方々に厚く御礼を申し上げます。

■4/20にみちのく会 恵庭支部 春のお茶会を実施しました。

恵庭市の黄金ふれあいセンターにて、恵庭支部初の主催行事となります、お茶会を実施しました。

恵庭の避難者3世帯のほか、本部より本間さん+私の賃貸の大家さん+北海道新聞社の斉藤さん(いわき市出身)+UHBさんという異例の構成となりました。カメラが回っていたせいもあってか最初こそぎこちない雰囲気でしたが、終了間際には会話も弾んで地元トークとなり、最後は恵庭っていいよね~ということでお開きになりました。

■次回にお茶会について
6月中にお茶会を計画しております。
となり町の長沼町にてカフェを経営しているのんちゃんのお話会が面白かったので、連携して何かできないかと企てております。詳細はまた後ほど。
またみなさまにお会い出来るよう、頑張ってお待ちしております。



■次回にお茶会について

6月中にお茶会を計画しております。

となり町の長沼町にてカフェを経営しているのんちゃんのお話会が面白かったので、連携して何かできないかと企てております。詳細はまた後ほど。

またみなさまにお会い出来るよう、頑張ってお待ちしております。

会員さんのご紹介 神保 美由紀さん

神保さんは、昨年に続き、今年のライラックまつり(5月21日～25日)にて、札幌の伝統工芸「麦わら細工」を次世代へ伝承するための体験ブースで活動されました。

東京の足立区から2011年に当時3歳の息子と主人の三人で移住をしてきました。当時は知識がないながらも、ガイガーカウンターを買い近くの公園や幼稚園を測り、その数字に将来の不安を感じ幼稚園に事実を伝え対応を訴えまいしたが、何も無かったかのような対応。「恐怖心をあおることはしないでくれ」との返事に、もうここでの生活は続けるのはやめようと決めました。

私は生まれも育ちも足立区の下町。たくさんの桜が咲く思い出多き大好きな地元で子どもを育て、両親の面倒もみていけると思っていました。

札幌に移住してきて、東京に残してきた両親、自分達のこれからのこと、健康の事など不安を抱えながらも話す相手もなく、子どもの幼稚園のお母さん達とは一線を置いてしまって上手く接することが出来ませんでした。孤独感と育児でイライラすることもありました。

去年のライラック祭りのお手伝いのお話がみちのく会からあり参加しました。北海道の麦わらを使っての作品作り。去年は雪の結晶でした。北海道の麦わらの成分にはプラントオパールという成分が入っていて、金色に輝くのです。道民の方々も知らない人は多いと聞き、もったいないと思いました。その麦わらを使い今年のライラック祭りは「馬」と「プレスレット」を作ります。会場のテントにてお客様に麦わら細工を体験してもらいます。もともと絵を描くこと物作りが好きだったので、麦わら細工をしているときは、不安なことは考えず楽しい時間をすごすことができました。



神保 美由紀さん



この麦わら細工を教えてくださいと土肥さんは、北海道の麦の素晴らしさを子供達に伝えたく14年頑張ってきた方です。そしてこの活動は、児童館などへ行き子ども達に伝えるという方向に進めています。

北海道の生活も二年半が過ぎ心に余裕が出てきて多くの人達と出会い体験して、北海道のいろいろな良い所を発見しています。今はその北海道の良さを伝え守れたらいいなと思っています。

メーリングリストは、届いていますか？

■みちのく会のメーリングリスト(ML)

http://www.freeml.com/michinoku_kai

みちのく会の会員のみに配信される情報メールを受け取れるようになるメーリングリストです。会員登録の際にいただいたメールアドレスに下記のような招待メールをお届けします。

差出人:invite@freeml.com

件名:【freeml】みちのく会さんからML「みちのく会からのお知らせML」への招待状が届いています。

■行っていただきたいこと

MLを受け取るためには、招待メール内の▼参加はこちら▼というURLをクリックしていただくことでスタートします。みちのく会員向けの緊急告知などの得るのに最適な情報網です。MLへの返信は、参加者にも公開されるため、その前に事務局からの承認を行います。個人的な返信やメールは、みちのく会事務局へお願いします。

office@michinokukai.info

みちのく会のお問い合わせ先はこちら

※入会のお申し込みを随時受付しております(会費無料)

※お電話や、お越しの際は、月寒事務所へお願いいたします

■みちのく会 事務所

住所:札幌市中央区南8条西2丁目市民活動プラザ星園201

Tel・Fax:011-206-1522

E-mail:office@michinokukai.info(月寒オフィス共通)

■みちのく会 月寒(つきさむ)事務所

住所:札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11/交通:地下鉄東豊線 月寒中央駅1番出口から徒歩3分(アンパン道路)

Tel・Fax:011-826-4092

■旭川支部 支部長 金谷 光英 〒070-0032 旭川市2条通7丁目227番地-1 マルカツ3F Tel:090-2737-3451

E-mail:asahikawa@michinokukai.info

■空知支部 支部長 渡辺 歩 〒069-0351 岩見沢市北村砂浜4925 Tel:050-5535-5518

E-mail:sorachi@michinokukai.info

■函館支部 支部長 鈴木 明広 〒041-0843 函館市花園町33番地8-606 Tel:090-2984-3752

E-mail:hakodate@michinokukai.info

募金先:口座名称「被災者子ども安心基金」

HP:<http://www.kodomo-anshin-kikin.org/>

E-mail:ikaodori555@ybb.ne.jp

郵便局口座記号番号:02770-2-69436

■胆振支部 支部長 二瓶 勇樹 〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町167-6 Tel:090-4555-3275

E-mail:iburi@michinokukai.info

■恵庭支部 支部長 小林 靖 〒061-0374 恵庭市恵み野北3-1-1 恵庭RBパーク S-205 Tel:050-3553-8884

E-mail:eniwa@michinokukai.info